

安宅川 佳之 アタイガワ ヨシユキ

和歌山大学経済学部卒業(1962), 日本生命入社(1962~), 日本経済研究センター派遣(1965~), ニューヨーク駐在(ニューヨーク証券市場の調査等)(1974~), アナリストチームの総括, 米国株式ファンドの運用を担当(1975~), 外国証券投資ストラテジスト業務(1982~), ニッセイ BOT 投資顧問株式会社(年金資金運用業務を中心とする投資顧問会社の経営)常務取締役(1989~), ニッセイアセットマネジメント株式会社常任監査役(2000~), 日本福祉大学赴任(2001), 大学院福祉経営専攻専攻長(2007~).

【研究分野】

財政学・金融論, 経済史.

【キーワード】

年金財政「積立方式と賦課方式」, 401K, 年金運用, アクティブ運用とパッシブ運用, 証券投資戦略, コンドラチェフ波動, 少子化対策.

【担当授業科目】

学部: 年金・保険論, 金融ポートフォリオ, ビジネス基礎.
通信教育部: シルバーファイナンス, ヘルスケア産業論, 年金と資産運用, 公共政策と経営.

【主な研究テーマ】

1. 公共政策としての年金等社会保障制度

少子高齢化社会の到来を控えて, 年金制度等の社会保障制度を如何に運営すべきか, 歴史的視点とグローバルな制度比較論に基づいて明らかにする.
欧州諸国の社会保障制度激動の中で, 日本の社会保険制度の将来の運営の方向を探る.

2. 長期波動論

18世紀末以降の欧米経済史を, 長期波動(覇権サイクルとコンドラチェフ波動)の中に位置付ける. 特に物価・金利の長期波動の発生メカニズムを明かにし, 長期波動の起動要因となる経済思想と国家経済システム・グローバル経済システムとの関りについて, 世界経済の歴史的現象に基づいて分析する. 経済システムの変更が, 企業の行動原理(コーポレート・ガバナンス), 個人の行動原理(倫理観等)との間でどのような相互作用を生じさせてきたかを明らかにする.

3. 少子化問題

わが国における最重要社会・経済問題である, 深刻な少子化現象について, 長期的視点に立って原因分析を行い, 「世代間対立の解消」という視点から解決策を研究・提言する.

【主な研究業績】

<著書>

- 『家族と福祉の社会経済学』 総頁248p, 単著, 日本経済新聞出版社, 2010. 05.
- 『長期波動からみた世界経済史』 総頁310p, 単著, ミネルヴァ書房, 2005. 09.
- 『シルバーファイナンス』(日本福祉大学通信教育部テキスト) 総頁336p, 単著, 日本福祉大学通信教育部, 2004. 03.
- 『コンドラチェフ波動のメカニズム』, 単著, ミネルヴァ書房, 2000. 04.
- 『住宅の経済学』, 共著, 「住宅投資を決定するもの(住宅投資関数論)」 pp. 135-154, 日本経済新聞社, 1967. 04.

<論文>

- 「社会保障をめぐる世代間対立」, 日本経済新聞朝刊『経済教室』, 単著, 日本経済新聞社, 2010. 10. 08, p. 31.

- 「少子化と社会保障制度の展望」, 『日本福祉大学経済論集』第40号, 単著, 日本福祉大学経済学会, 2010. 03, pp. 1-30.
- 「経済活力の定量的把握について」, 『日本福祉大学経済論集』第37号, 共著, 日本福祉大学経済学会・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2008. 08, pp. 43-62.
- 「世代間対立の時代の公共政策」, 『日本福祉大学経済論集』第35号, 単著, 日本福祉大学経済学会・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2007. 08, pp. 1-30.
- 「世代間格差是正と少子化対策(日本経済新聞経済教室)」, 単著, 日本経済新聞社, 2007. 05, p. 29.
- 「コンドラチェフ波動と中国経済」, 『日本福祉大学経済論集』第33号, 単著, 日本福祉大学経済学会・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2006. 08, pp. 73-101.
- 「リフレ期への展望—長期波動転換の諸条件を探る」, 『景気とサイクル』第38号, 単著, 景気循環学会, 2004. 07, pp. 35-54.
- 「少子化と経済変動」, 『保険学雑誌』第583号, 単著, 日本保険学会, 2003. 05, pp. 40-58.
- 「コーポレートガバナンスと機関投資家の役割」, 『保険学雑誌』, 単著, 日本保険学会, 2003. 03.
- 「アメリカ型経済システムと年金制度」, 『証券経済研究』第34号, 単著, 2001. 11, pp. 63-82.
- 「長期波動から見た経済情勢(日本経済新聞経済教室)」, 『経済教室』, 単著, 日本経済新聞, 2001. 10.
- 「コンドラチェフ波動と年金制度」, 『日本年金学会誌』第20号, 単著, 2000, pp. 121-128.
- 「日本の機関投資家とコーポレート・ガバナンス」, 『証券経済研究』第17号, 単著, 日本証券経済研究所, 1999. 04.
- 「ビッグバンとデフレ対策」, 『PAL98. 5』, 単著, 地方公務員共済組合連合会, 1998. 04.
- 「ビッグバンと年金基金」, 『座標軸』, 単著, 日本格付投資情報センター, 1997. 08.
- 「年金運用と時価評価の導入」, 『座標軸』, 単著, 日本格付投資情報センター, 1996. 07.
- 「アメリカモデルと日本モデル」, 『座標軸』, 単著, 日本格付投資情報センター, 1996. 03.
- 「社会福祉と情報原理」, 『座標軸』, 単著, 日本格付投資情報センター, 1995. 10.
- 「政治思想と金利—10年は続くデフレ後期」, 『TRADER November 1993』, 単著, 月間トレーダー社, 1993. 11.
- 「株価暴落とその歴史的背景」, 『地方公務員共済組合連合会会報(91・11)』, 単著, 1991. 11.

<学会発表>

- 公共政策と保険理論, 日本保険学会, 2007. 09.
- 保険業とコーポレートガバナンス, 日本保険学会, 2002. 10.

【所属学会】

日本年金学会(2000~), 日本保険学会(2000~), 証券経済学会(2000~), 景気循環学会(2004~).

【社会における活動と仕事】

日本経済研究センター 特別会員(2002~).